

2021.11.13 富山県成長戦略ビジョンセッション(魚津市)での発言要旨

【知事からの説明】

新田知事より 資料(別添)により富山県成長戦略会議「中間とりまとめ」について説明

【グループ発表(①～④グループ)】

①

・魚津巻き込み大作戦

・観覧車からの山からの景色を魚津の水循環と合わせて何とかしたい

この二つをベースに考えれば何でもできるんじゃないかなと思うんですけども、山と海だったり魚津の美味しいものを今すでに発信されている方もたくさんいらっしゃるんですけどももっともっと発信するとか素材が揃っているのかなという印象を受けました。

それをいかに子供たちに伝えるかということが大事になっていくのかなと思います。例えばふるさと教育ひとつとっても今までのやり方で散々私たちもふるさと教育をしてきてもらったんですけど大人になってから自分達の暮らしている街で出会った人との関わりによってこの街が好きという感情が芽生えているというふうに思うともうちょっと子供達に対するアピールが工夫する必要があるんじゃないかなという風に感じました。他のチームもぜひ巻き込まれて一緒に何かしましょう。

知事:それぞれいいポイントだと思うので是非今日はこの場でこの時間で完成品というわけではないので、ぜひこのチームで今後も定期的に会われてどんどん深めて進化させていって欲しいと思います。

市長:次の時代、後の担い手に伝えることは大切なので魚津のふるさと教育についてしっかりと考えたいと思います。

②

私たちのグループは街づくりというキーワードで集まったグループです。

・魚津のファンクラブを作る

ファンクラブを作って通し番号で1000万人まで到達させる。その中でも加積りんごのファンクラブを作るとか具体的に特化したいいのではないかな。

・フォトロケイニング

いろんな場所でポイント制の写真を撮ってポイントが何点になるかという写真を使ったポイントラリー。

・蜃気楼が出るまでお客さんを帰さない

覚悟をして来ていただくと、非常にリスクリーなので経済的にかなりフォローしないとイケない。このアイデアが最高点を取りました。

知事:私の聞き間違いでなければ魚津だけで幸せ人口1000万人やっていただけということ。いっぺんに気が楽になりました。是非100万人ぐらいはお願いいたします。蜃気楼を見れるまで帰れ

ないというアイデアはお客さんだけがリスクなので、一週間見れなかったら全額返すとか面白い仕組みゲーム性のあることで人を集めるというのもいいと思いました。

市長: 蜃気楼が見えるまでお客さんを帰さないための環境整備をしたいなと思いますね。毎朝カニを見に行くのですがあの辺食べられる場所がないのでカニ小屋を建てたりしながら蜃気楼出るまでカニを食べててねとかね。蜃気楼出なかったら無料とかね。

③私たちは真の幸せウェルビーイングというキーワードで集まりました。

・すぐ住める古民家

移住者を増やすにはという中で都会から来た時に何度も訪れて何度もお金を払って住もうと思ったからその古民家が住めない状態。最初からリノベーションしてすぐ住める家プラス畑なんか付いていたりとか。そうすると移住者の方がふらっと来てこの田舎いいなすぐ住める！じゃあここに決定！という流れができるのではないかと思います。

・魚津市体験ツアー

魚津市の食やいろんな体験をパッケージにしてここに来ればいろんな魚津市の魅力を体験できるというツアーです。興味がある人はお寿司を調べてここに来ると思うのですがなかなかきっかけがなかったりそういう人に対して県内や県外の人に対して魚津市の魅力が詰まった体験ツアーを組んでいくことを考えました。

人を呼べる旅館素晴らしい旅館があったらいいなと考えて、7つ星だとか。7つ星はドバイに一軒しかないけれども。そういった旅館があっても面白いのではないかと思います。

村椿市長からは大大大花火大会というアイデアも出ました。

魚津は本当に魅力がたくさんあるのでまずは知ってもらうということが大切だと思います。

知事: さすがはウェルビーイングチームらしく、いずれもウェルビーイング向上に力を発揮するようなアイデアだったと思います。古民家あるいは空き家をリノベーションして利活用していくことは今後どのまちでも大きなテーマだと思います。壊すのは一番無駄だし、もちろん資源も無駄コストも無駄なんです。是非壊す前に活かすということを考える。畑付きというのもまたいいですね。どうメンテナンスをするのかを考えるということもいいアイデアだと思いました。

伝え下手というのも大変問題なんです。良い政策をやっても伝わってなければやっていないのと同じなのです。これからは企画立案をして伝えるところまでセットで物事を考えていかなければならないと思っております。

市長: たくさんアイデアを出していただいてよく見るとみんなやればできるのではないかなというものが多いので市の方でもお話をしながらやっていきたいなと思います。魚津には立派な旅館があるのでそこを育ててぜひ7つ星の宿になっていただきたいですし、みんなで応援したいなと思います。

④

・若い女性が働ける場所を増やす

・魅力的な人を増やす

昔から面白い人が多いよねという話も結構聞くんです。魚津って他の街よりも元気な人がすごく多い印象があってこれは資源だなと思っています。魅力的な人をさらに富山県の中で増やしていく。

・祭りを絶やさない

魚津ワンチームで

知事：ミラージュランドも蜃気楼のホタルイカも水族館もみんなすごく素敵なのですが、やっぱり最後は人なんですね。ミラージュランドのリピーターも多いと思いますが村椿市長に会いたいと何度も訪れる人も多いと思います。魅力的な人を増やすのはとても大切なことだと思います。

若い女性が働ける場所はなければ是非作ってください。みんなでお店を作ったり。私はスモールビジネスも大切だと思います。社会のちょっとした問題を解決するようなビジネスもあってしかるべきだし、そこに生き甲斐を感じるそこに女性がいたりだとかそういったところにも支援をしていきたいと思っています。

市長：人がファイナルアンサーだと思います。成長戦略の最大のポイントはおそらく人だと思います。人づくりあるいは人との関係作りこういったことを魚津市でも進めていきたいと思っています。

【振り返り】

今日私たちのチームはウェルビーイングという話で集まったのですけれども、前向きなことを考えるとすごく楽しいなど。今コロナで本当に悲しいことばかりで楽しいこともなくなっているのですが、そういうふうの前向きな話をするということは活力で今後も元気になるのではないかと思います。

一番の学びは同じチームの中で地域を良くするために僕の中では全くでなかった意見が出てすごく外からの意見が参考になったと思います。明日からアクションをしていきたいことは引っ張るエンジンになりたい。実際に動かしていきたいという思いがあります。南部さんの魚津の巻き込み大作戦というところであったり、フォトロケイニングも後ほどお話しさせて頂いて実走が出来ればなどと思います。

最も印象に残ったことは話の内容やワークというよりもここに集まった人だと思います。本当に魚津っていいところいろんな資源があるのですが。魚津って面白い方がたくさんいらっしゃってとにかく全員と話したいし、この部屋にいる皆さんと全員話したいと思うぐらい本当に楽しかった。何かを作り出すのはやっぱり人とだと思ふ。それぞれの分野で活動されていると思うのですが、こういうところで繋がったことで何かを一緒にやっていくアイデアを出し合うということは大切だと思う。交流会を作って皆さんと一緒にやっていきたいと思いました。

自分たちで自分たちの住みたい街を作って行くセルフメイド幸せの作り方だなあと思いました。若者は SNS で何でも共有できる分、レディメイドな幸せを押し付けあっているような印象が私はあったので、こういう機会にもっと若者が参加して大人との交流だったりアイデアを出して実現していくというプロセスに関わっていくというのを私も周りの人に呼びかけていきたいなと思いました。

私がこの会に参加したのは魚津の若い人たちの意見を聞きたかったからなのです。私たちのグループは本当におばちゃん軍団なので若い人たちとの交流がない本当に今日来て若い人たちがこれだけ魚津のことを一生懸命考えて活動をしていらっしゃる方もいるし、とても頼もしく思いました。私たちは後ろを押ししたい。引っ張る力はないので皆さんを押ししていきたいと思うので、おばちゃんはおばちゃん。若い人は若い人ではなくて、いろんな年代が意見を言い合える場を是非市長、作ってください。

知事：今日集まれた方の唯一の共通点が魚津市民ですよ。かつ魚津愛に溢れた方だと思います。初対面の方もいらっしゃるにも関わらずこんなに話が盛り上がって。まず男女のダイバーシティがあります。大体今日は6対4ぐらいの比率でしょうか。それから年齢層のダイバーシティもあります。それから仕事もそれぞれあるそうです。どんなダイバーシティが活気を生んだんだと思います。県庁でもダイバーシティと言っていますが大切なことなのだなと改めて今日は感じました。

市長：先ほどからのテーマ ウェルビーイングで居続ける、あるいは高められていく。それをやるために自分なりに心がけていることがあります。一つは毎日笑顔でいるということ。二つ目はあまり飾らないで自分らしくあるということ。三つ目は自分の強みをできるだけ生かすということ。四つ目は少しでもいいから結果を出すこと。これを できればみんなとやる。これは自分自身の考えではなくてユニリーバジャパンの 島田由香さんの考え方です。こういうことをしっかりと意識して生活していくことがウェルビーイングということだと思うので皆さんと一緒にそういった気持ちを持ち続けられるようにしていきたいと思っています。もちろん 浦田さんが先ほどおっしゃったような場も作っていきたいと思います。

【知事あいさつ】

知事：多くの方がお休みの中、天気もいい中でどこにでも行ける環境の中で、一步踏み出してこの場に来ていただいた。それは魚津をより良くしよう富山県も良くしてやろうそんな思いの表れだと思います。そんな皆様だからこそ熱い議論になっていくつものアイデアも生まれてきました。その中から私も色々気付かされたことがありますし学ぶことができました。これを県の成長戦略に、まだまだ中間製品ですからより肉付けをするために深くするために今日の魚津ビジョンセッションの成果を盛り込んでいきたいと思っています。是非魚津だけでも続けて行っていただきたいと思っています。最初の立山町は立山ビジョンセッションという形で続いております。その話を聞いてとても嬉しく思いました。こういうビジョンセッションをやって一つの成果だなと思います。どうか魚津の皆さんももっともつと熱い議論を交わしていただきたいと思っています。ありがとうございました。